国内製造ワインの概況

（平成30年度調査分）

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下このページにおいて同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者を対象にアンケート調査（果実酒製造業者実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめた。

○　調査対象期間及び集計単位

(1)　売上高等の経営内容

法人については平成31年１月１日直前終了事業年度分（１事業年度が６か月の場合は２事業年度）、個人については平成30年分とし、事業者ごとのデータを基に集計。

(2)　製成・移出数量、原料受入数量等の生産・出荷の内容

平成30会計年度（平成30年４月１日～平成31年３月31日）とし、製造場ごとのデータを基に集計。

○　各表の注意事項

(1)　本資料では、酒税法上の果実酒を「果実酒」、果実酒のうちぶどうを原料としたものを「ワイン」と表記している。

(2)　各表の計数は、単位未満を四捨五入しているため、表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。

(3)　各表の年数は、特に記載のない場合、会計年度を示している。

(4)　各表の「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(5)　各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較の計数は参考値である。

令和２年２月

国税庁課税部酒税課

果実酒製造業者実態調査の概要

		平成28年度調査分	平成29年度調査分	**平成30年度調査分**
調査目的		個々のワイン製造業者の経営状況、ワインの生産実態、ワインの原料であるぶどうの調達状況等、ワインの製造全般について状況を把握し、これらのデータを集計・分析を行うことによって、国税庁の行う各種の施策の基礎資料とするため		
調査対象者		ワインの製造業者（試験製造免許者を除く。）		
調査方法		調査表を調査対象者に配付し、調査対象者が作成した調査表を調査対象者の住所又は本店の所在地の所轄税務署において回収（アンケート調査）		
調査項目		○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●ワインの受払状況（製造場別） ●ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別） ●原料の受入状況（製造場別） ※　製成数量の集計方法を変更	○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●ワインの受払状況（製造場別） ●ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別） ●原料の受入状況（製造場別）	○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●ワインの受払状況（製造場別） ●ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別） ●原料の受入状況（製造場別）
調査対象期間		○の調査項目 法人：平成29年１月１日直前終了事業年度 個人：平成28年 ●の調査項目 平成28会計年度	○の調査項目 法人：平成30年１月１日直前終了事業年度 個人：平成29年 ●の調査項目 平成29会計年度	○の調査項目 法人：平成31年１月１日直前終了事業年度 個人：平成30年 ●の調査項目 平成30会計年度
調査結果	調査対象者数	267者（283場） （平成29年３月31日現在）	285者（303場） （平成30年３月31日現在）	312者（331場） （平成31年３月31日現在）
	回答者数	231者（244場）	247者(263場)	273者(291場)
	回答率	86.5%	86.7%	87.5%

（注） 下線部は、前年度調査からの変更点を示している。

国内製造ワインの概況　目次

１　製造業者の概況
○　果実酒製造場数の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
○　国内のワイナリー数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
○　ワイン製造業の業界構造　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
○　国内製造ワインの生産量（生産規模別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
○　ワイン製造業の経営状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

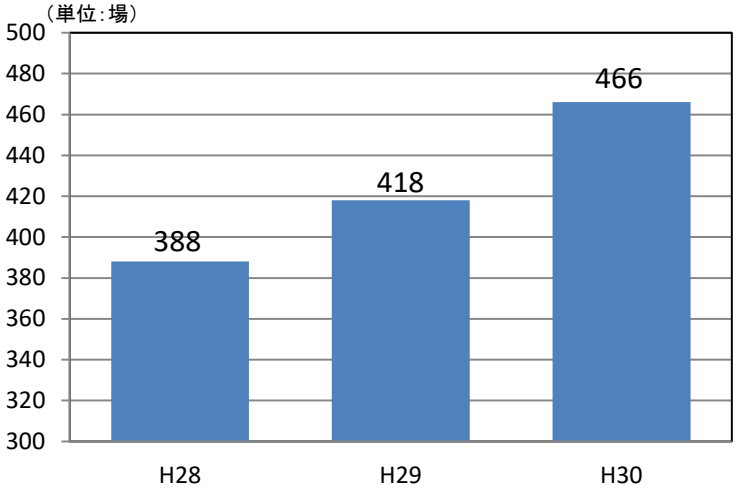
２　出荷・生産の概況
○　果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
○　日本ワインの出荷量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
○　果実酒の生産量（製成数量）の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
○　国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳　・・・・・・・・・・・・・・　8
○　日本ワインの種類別生産量及び上位６道県の構成比　・・・・・・・・・・・・・・・・　9

３　原料用国産生ぶどうの概況
○　ワイン原料用国産生ぶどう（赤白上位10品種）の受入数量　・・・・・・・・・・・・・　10
○　原料用ぶどう品種（白上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）　・・・・・・・　11
○　原料用ぶどう品種（赤上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）　・・・・・・・　12
○　主要ぶどう産地（上位６道県）における品種別数量　・・・・・・・・・・・・・・・・　13
○　都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
○　ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比　・・・・・・・・・・・・・・　17

（参考）
１　果実酒の都道府県ランキング（上位10位）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
２　果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者（場）及び回答者（場）数　・・・・・・・　19
３　ワインの都道府県別生産量・出荷量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
４　都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21
５　ぶどう産地別　製造場所在地別　原料ぶどう受入量　（国税局管轄区域別）　・・・・・　22
６　ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23
７　ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況　・・・・・・・・・・・・　24

1　製造業者の概況

○　果実酒製造場数の推移



（注）　各年度末（3月31日）現在における試験製造免許場を除いた果実酒製造場数である（国税庁統計年報による。）。

（参考）　各年（1月～12月）における新規免許付与件数

（単位：件）

免許区分	平成28年	平成29年	平成30年
新規	31　(7)	40　(10)	34　(3)
法人成り等	3　(0)	0　(0)	1　(0)
移転	0　(0)	2　(0)	0　(0)
合計	34　(7)	42　(10)	35　(3)

（注）1　国税庁ホームページに掲載されている酒類等製造免許の新規取得者名等一覧（https://www.nta.go.jp/taxes/sake/menkyo/shinki/seizo/02/zenkoku.htm）による。
2　括弧書きは付与した免許のうち試験免許の件数である。

国内のワイナリー数　331場

平成31年３月31日現在における果実酒製造場466場のうち、ワインを製造しており、平成30年度においてワインの生産又は出荷の実績がある製造場の数である。
都道府県別にみると、上位５道県で全体の約６割を占めている。

（都道府県別のワイナリー数）

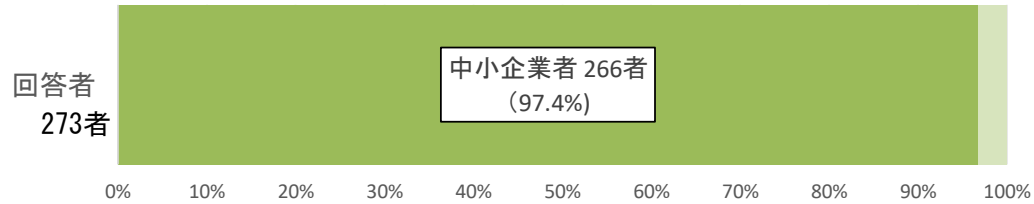
順位	都道府県	ワイナリー数	順位	都道府県	ワイナリー数
1	山梨	85	18	島根	4
2	長野	38	26	埼玉	3
3	北海道	37	26	鳥取	3
4	山形	15	26	熊本	3
5	岩手	11	29	富山	2
6	新潟	10	29	石川	2
7	大阪	8	29	岐阜	2
7	岡山	8	29	滋賀	2
7	広島	8	29	京都	2
10	青森	6	29	山口	2
10	福島	6	29	福岡	2
10	茨城	6	36	福井	1
10	栃木	6	36	三重	1
10	大分	6	36	和歌山	1
10	宮崎	6	36	徳島	1
16	千葉	5	36	香川	1
16	静岡	5	36	愛媛	1
18	宮城	4	36	高知	1
18	秋田	4	36	長崎	1
18	群馬	4	36	鹿児島	1
18	東京	4	36	沖縄	1
18	神奈川	4	46	奈良	0
18	愛知	4	46	佐賀	0
18	兵庫	4	全国計		331

（注）　果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考2を参照。

○　ワイン製造業の業界構造

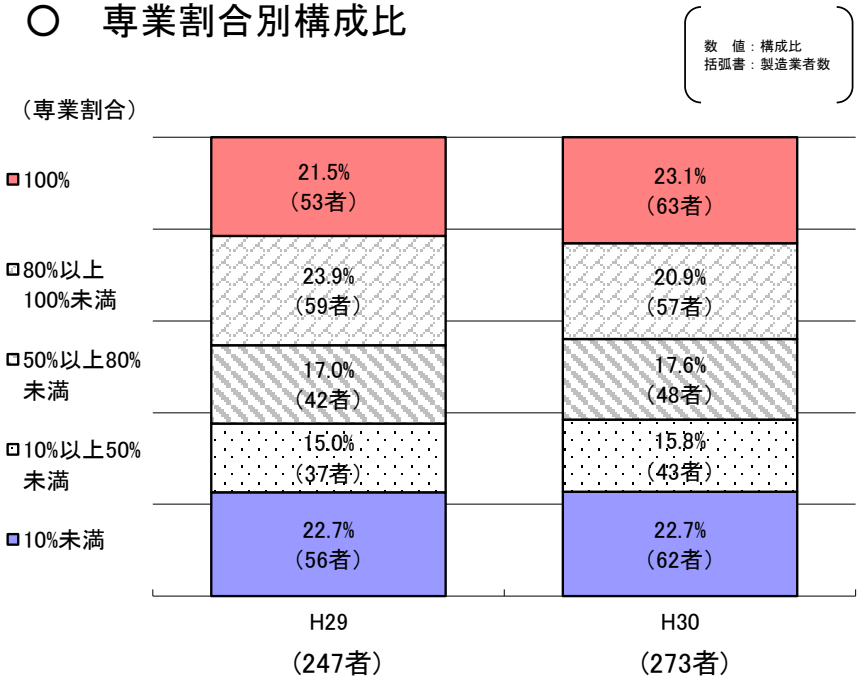
実態調査に回答のあったワイン製造業者の97.4％が中小企業者であり、専業割合（総売上高に占めるワインの売上高の比率）100％の者は全て生産量300kl未満の者である。

○　中小企業割合



（注）中小企業者とは、資本金３億円以下の会社並びに従業員300人以下の会社及び個人をいう。
（中小企業基本法第２条第１項第１号）

○　専業割合別構成比



（注）　法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○　専業割合別生産規模別業者数

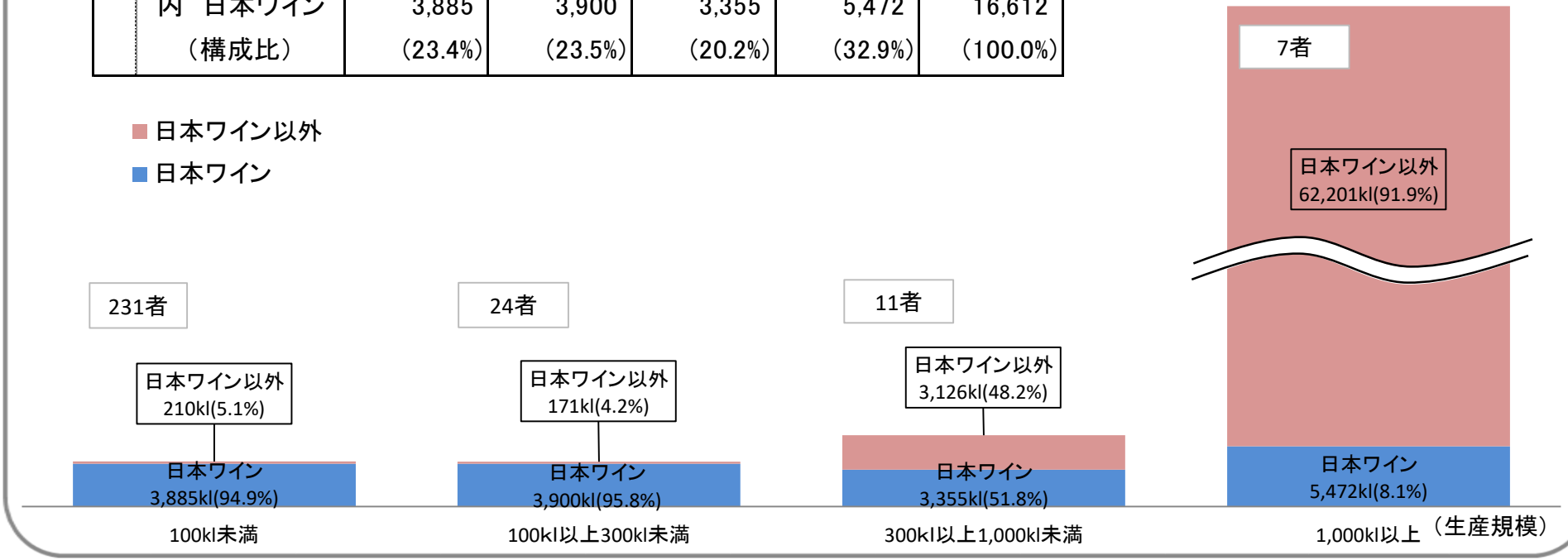
単位：者

生産量	専業割合					
	100%	80%以上100%未満	50%以上80%未満	10%以上50%未満	10%未満	合計
100kl未満	61	38	40	36	56	231
100kl以上300kl未満	2	12	5	3	2	24
300kl以上1,000kl未満		6	1	2	2	11
1,000kl以上		1	2	2	2	7
合計	63	57	48	43	62	273

○　国内製造ワインの生産量（生産規模別）

（単位：者、kl）

生産規模	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上	総数
企業数 （構成比）	231 （84.6%）	24 （8.8%）	11 （4.0%）	7 （2.6%）	273 （100.0%）
生産量 （構成比）	4,094 （5.0%）	4,071 （4.9%）	6,481 （7.9%）	67,673 （82.2%）	82,319 （100.0%）
内　日本ワイン （構成比）	3,885 （23.4%）	3,900 （23.5%）	3,355 （20.2%）	5,472 （32.9%）	16,612 （100.0%）



○　ワイン製造業の経営状況

○　ワイン製造業の売上高等の推移

原則として、製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、３年間は、免許に期限が付される（期限付免許者）。

期限付免許者及び期限付免許者以外の経営状況（１者当たりの平均）の推移は次のとおり。

（単位：者、百万円）

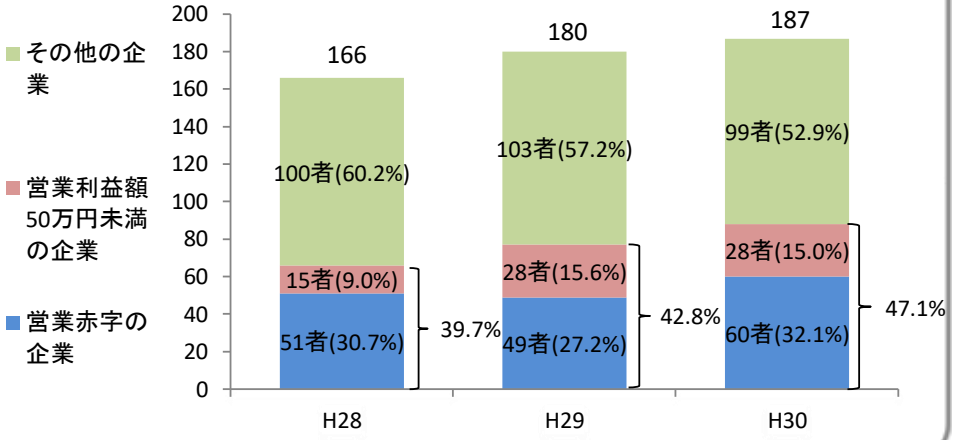
調査年度		企業数	売　上　高	売上総利益	営業利益	営業利益率
期限付免許者	H29	61	(1,288) 21	(360) 6	(△74) △1	△5.7%
	H30	80	(1,489) 19	(491) 6	(△132) △2	△8.9%
期限付を除く	H29	180	(24,110) 134	(10,964) 61	(1,367) 8	5.7%
	H30	187	(25,008) 134	(11,405) 61	(1,620) 9	6.5%
H29合計		241	(25,398) 105	(11,324) 47	(1,293) 5	5.1%
H30合計		267	(26,497) 99	(11,896) 45	(1,488) 6	5.6%

（注）１　経営状況は、調査対象期間における製成数量の上位５者及び資本関係のある販売担当会社１者の計６者を除き、ワイン製造業に係る計数を集計している（以下このページにおいて同じ。）。

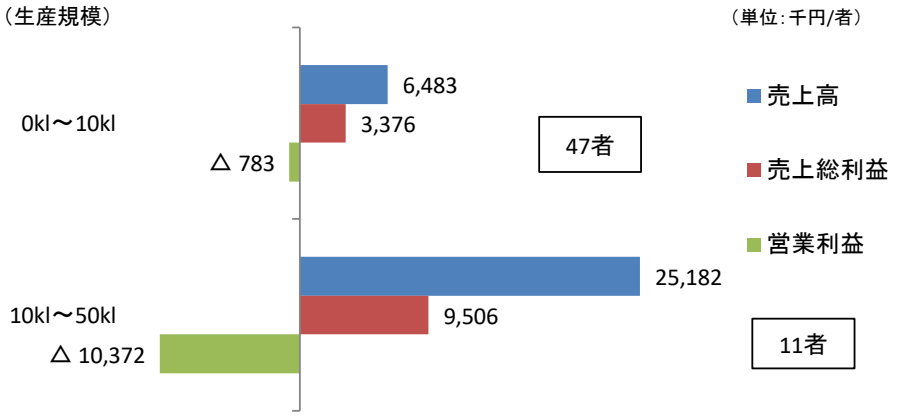
２　括弧書は回答者合計である。

３　法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している（以下このページにおいて同じ。）。

○ ワイン製造業の営業赤字及び営業利益額50万円未満の企業数の推移（期限付免許者を除く）



○ 期限付免許者のうち免許付与３年目までの者の経営状況（１者当たりの平均）

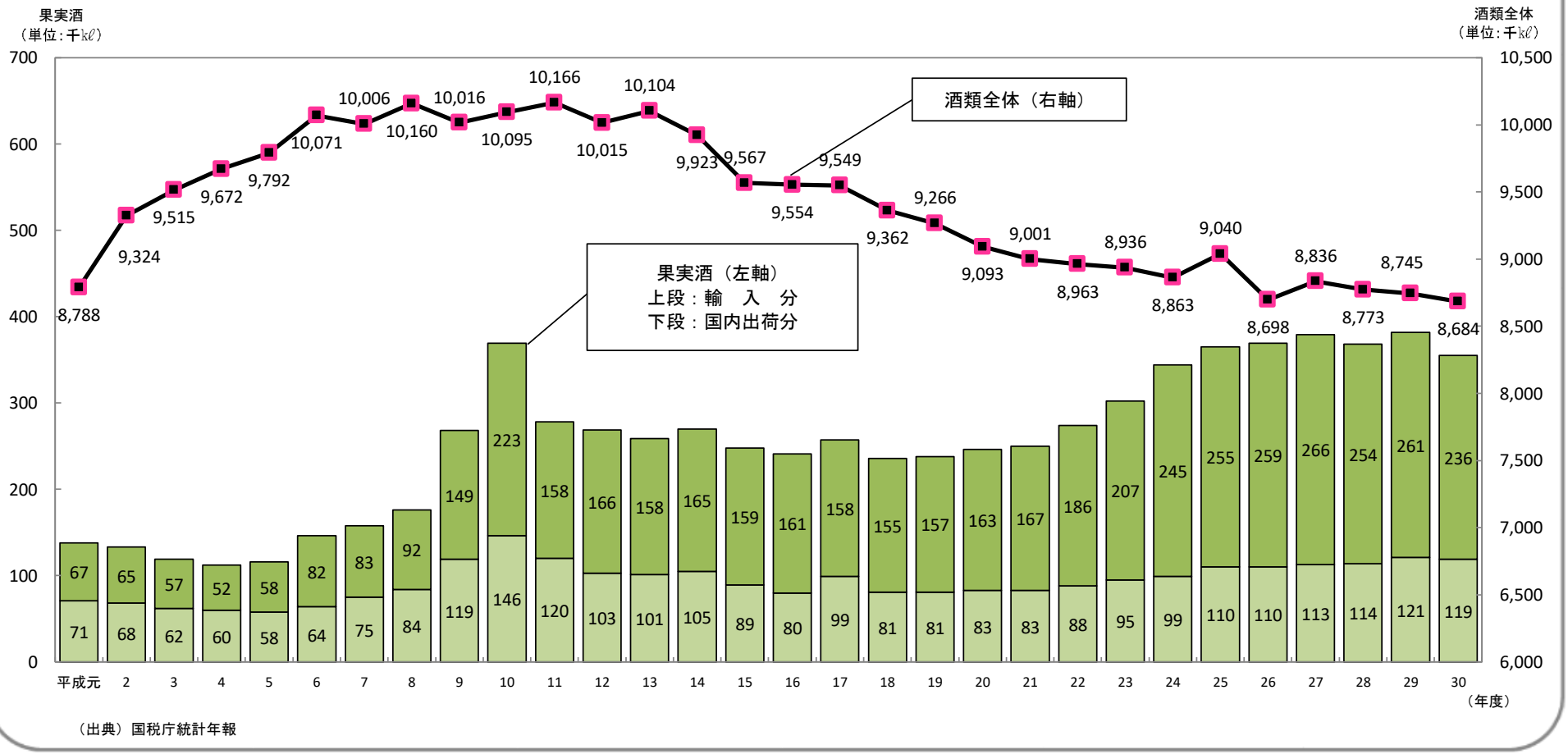


2　出荷･生産の概況

○　果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移

酒類全体の課税移出数量が減少しており、果実酒についても減少。

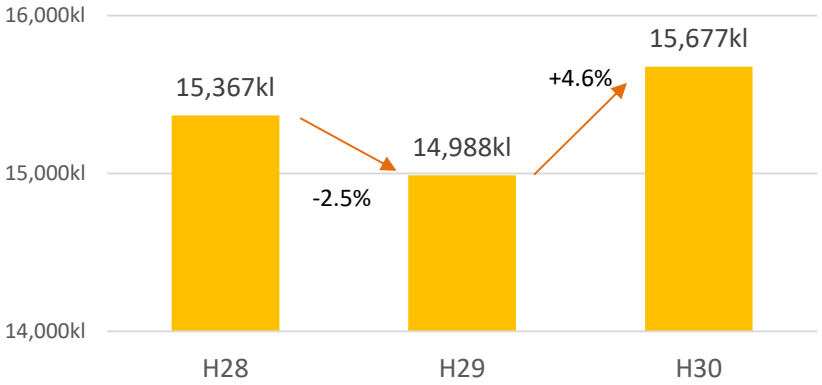
果実酒の課税移出数量のうち、輸入分は前年比約9.6%の減少、国内出荷分は前年比約1.7%の減少。



（出典）国税庁統計年報

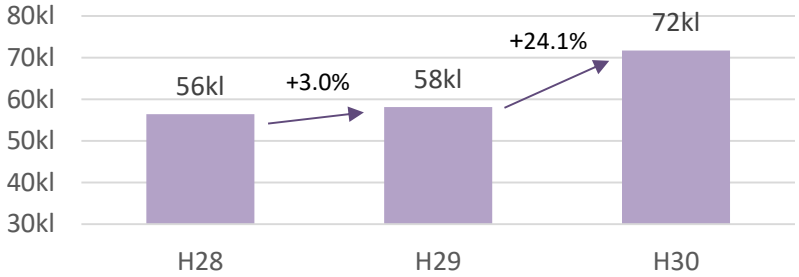
○ 日本ワインの出荷量

○ 日本ワインの出荷量（課税移出数量）の推移



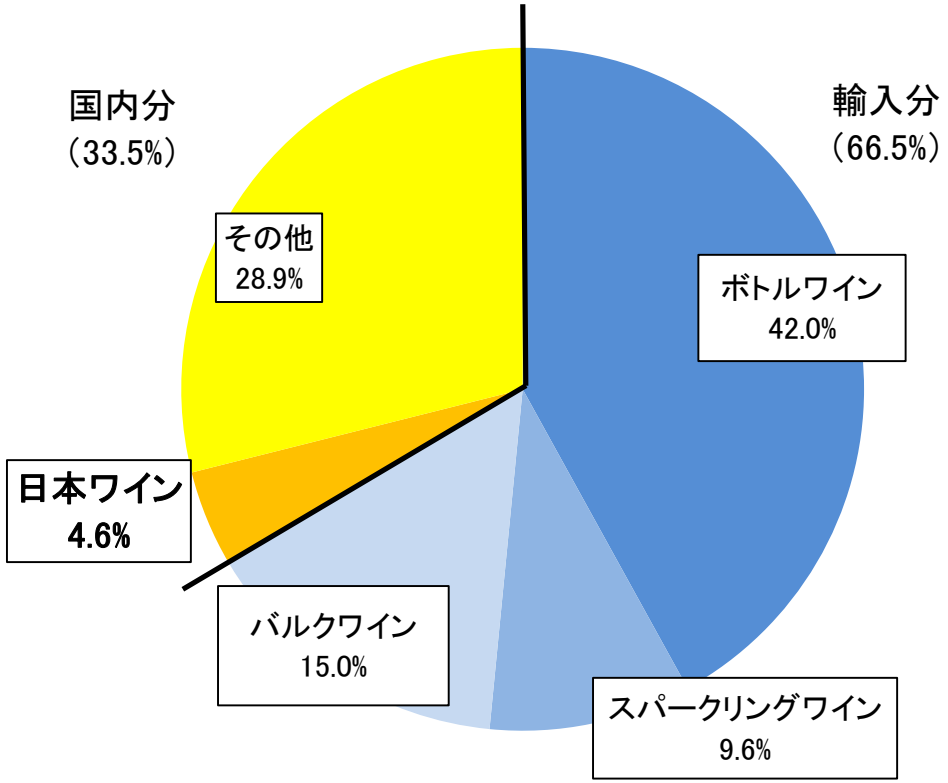
（注） 出荷量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。

○ 日本ワインの輸出量の推移



（注） 1 輸出量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。
2 法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

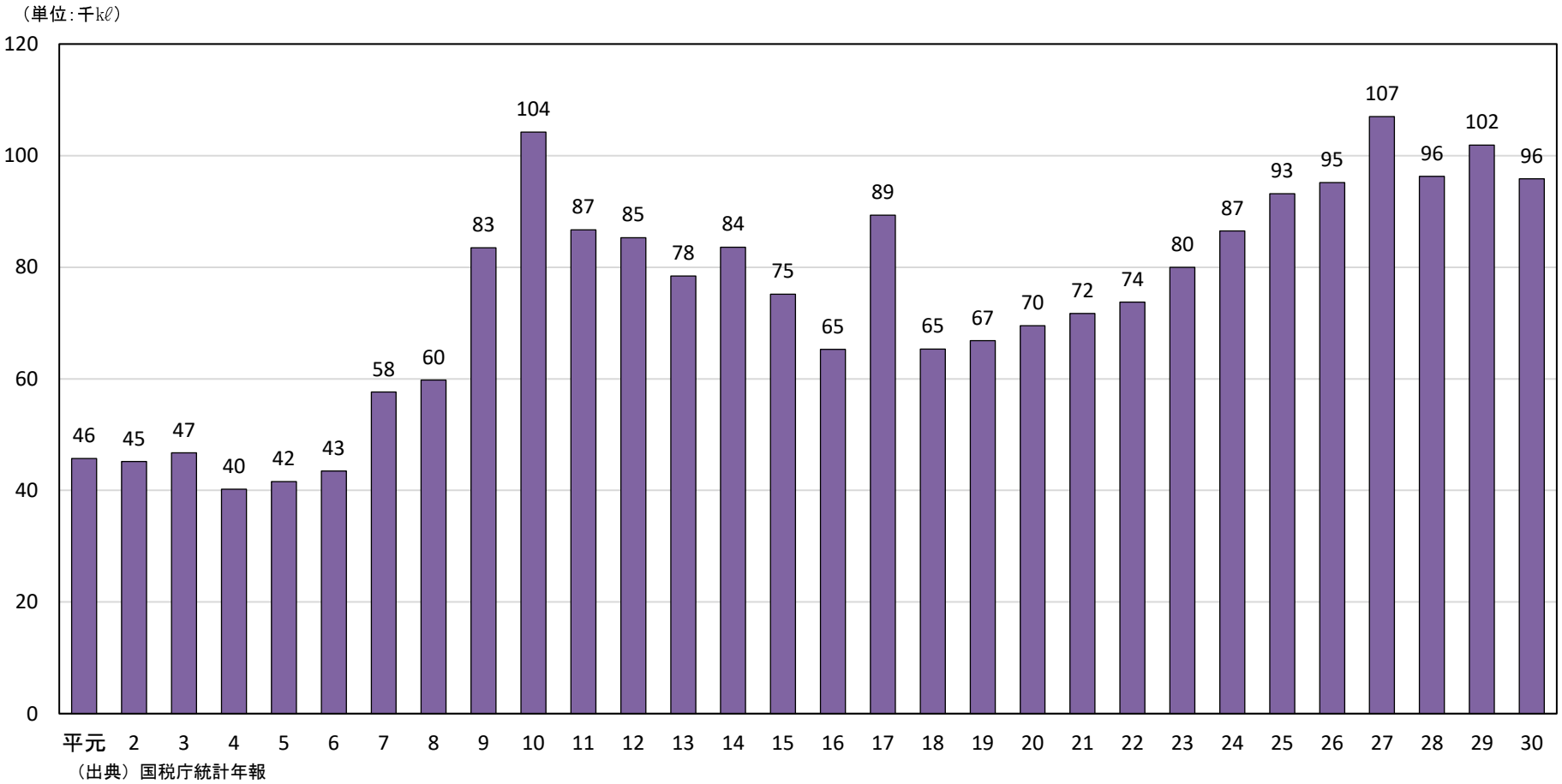
○ 国内市場におけるワインの流通量の構成比
（平成30年度推計値）



（注）1 国内分・輸入分の構成比は、国税庁統計年報における果実酒の課税数量比である。
2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
3 国内分の構成割合は、果実酒実態調査を基に推計している。

○ 果実酒の生産量（製成数量）の推移

果実酒の生産量は長期的に増加傾向にあり、平成30年度は前年度より減少したものの、高水準を維持している。

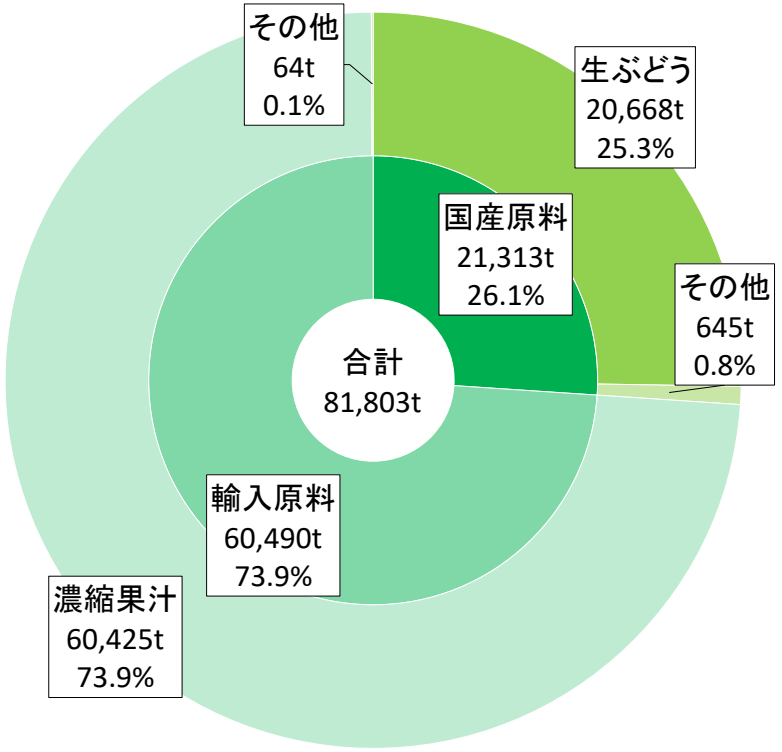


（出典）国税庁統計年報

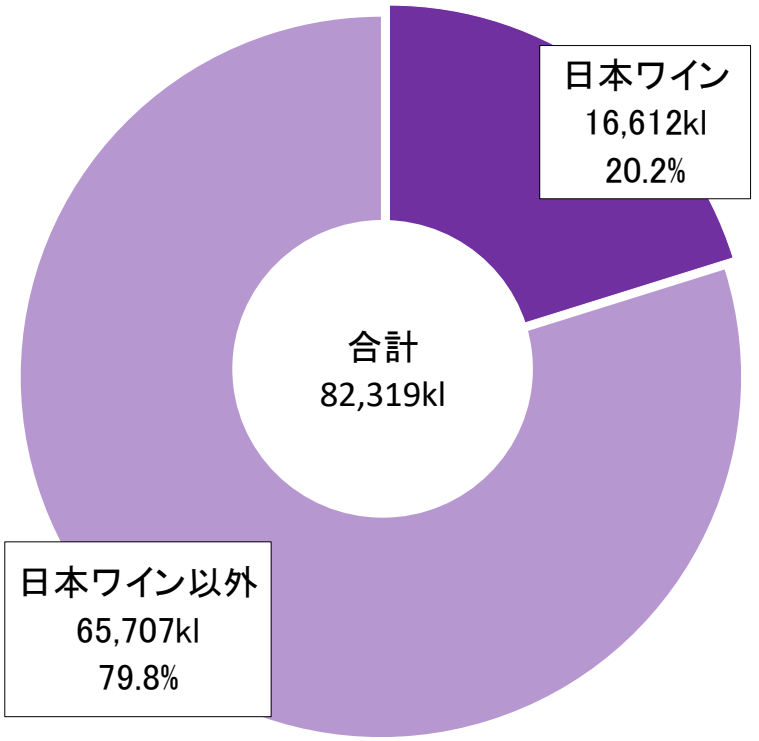
○　国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳

国内製造ワインの生産量構成比をみると、日本ワインは20.2%である。

○ 国内製造ワインの使用原料構成比



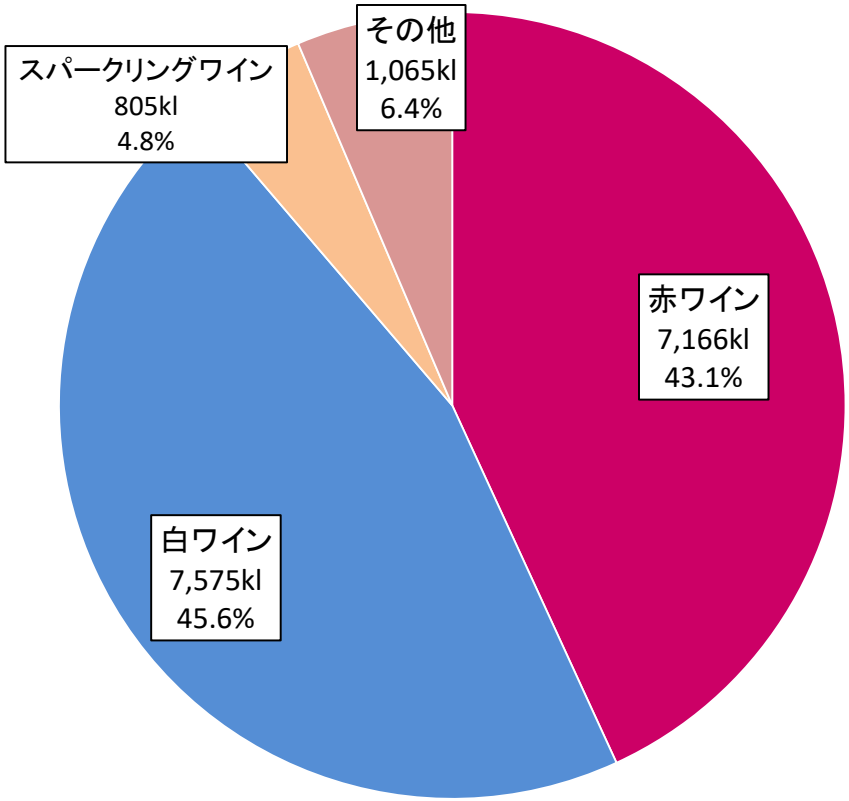
○ 国内製造ワインの生産量構成比（日本ワイン）

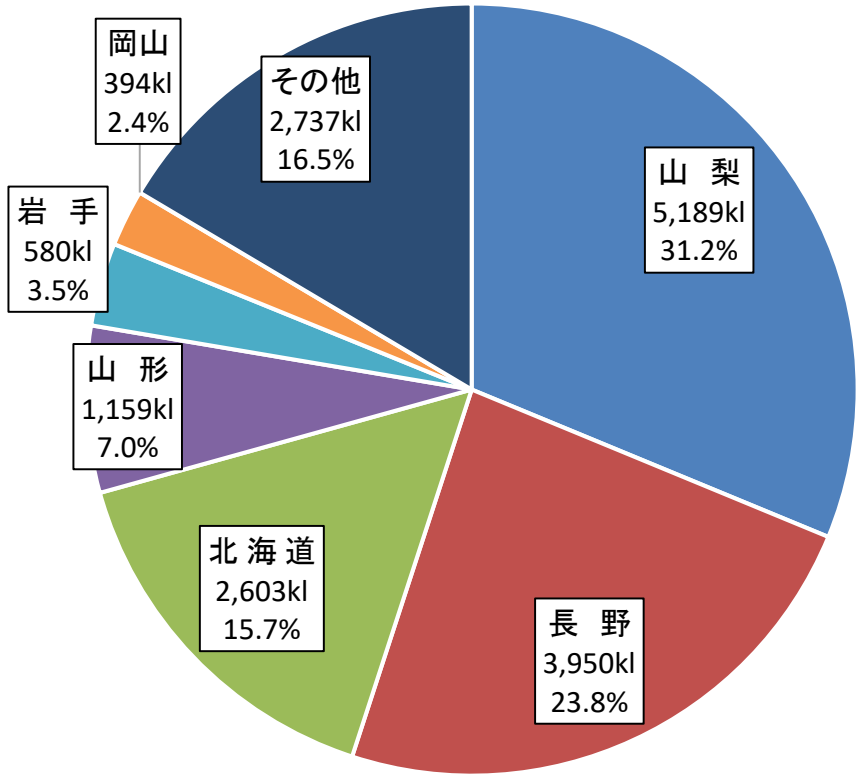


（注） 果実酒製造業者実態調査に回答のあった製造場のワインの生産量の集計値であり、7ページの生産量とは一致しない。

○　日本ワインの種類別生産量及び上位６道県の構成比

日本ワイン生産量　16,612kl





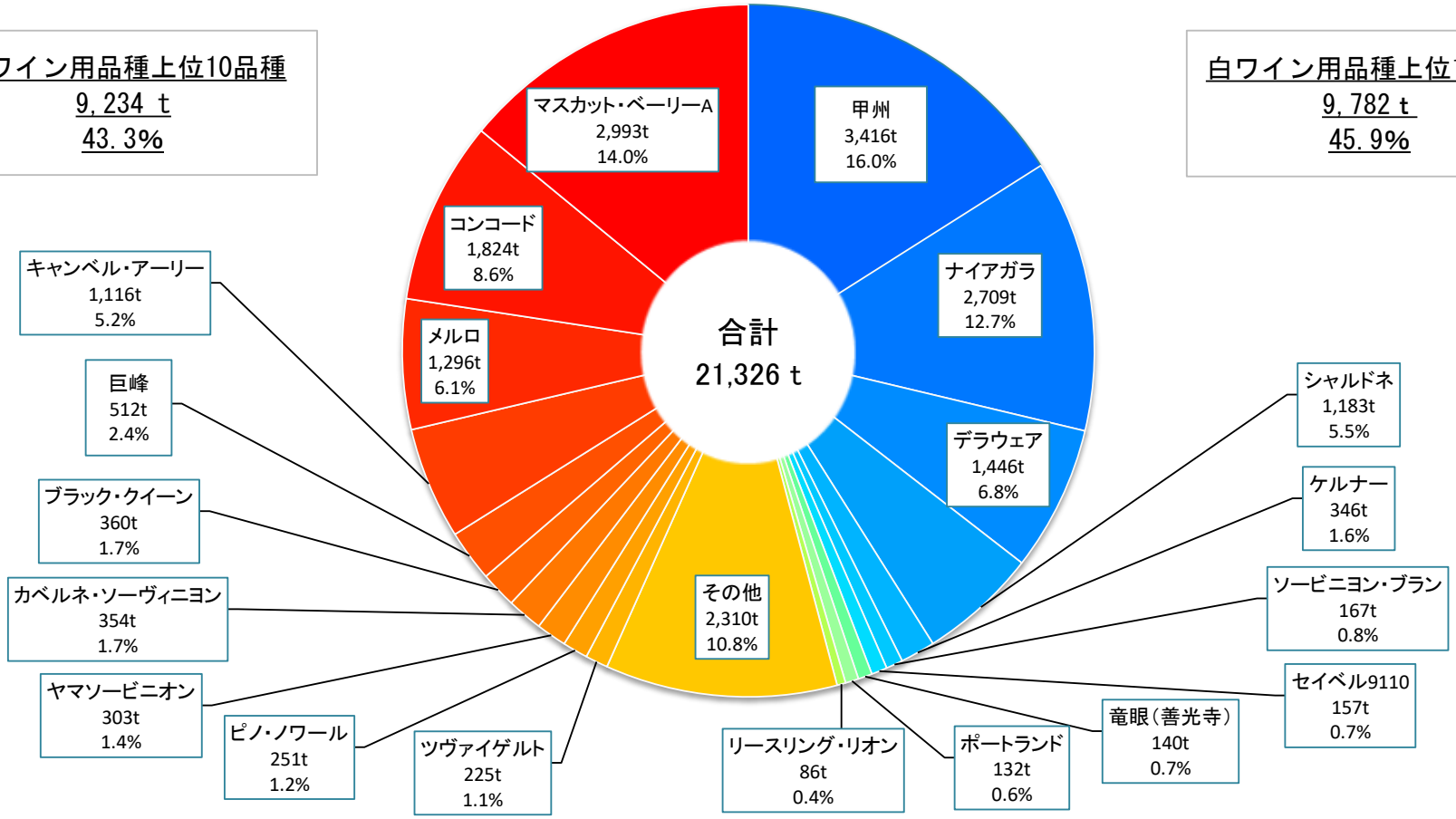
（注） 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考3を参照。

３　原料用国産生ぶどうの概況

○　ワイン原料用国産生ぶどう（赤白上位10品種）の受入数量

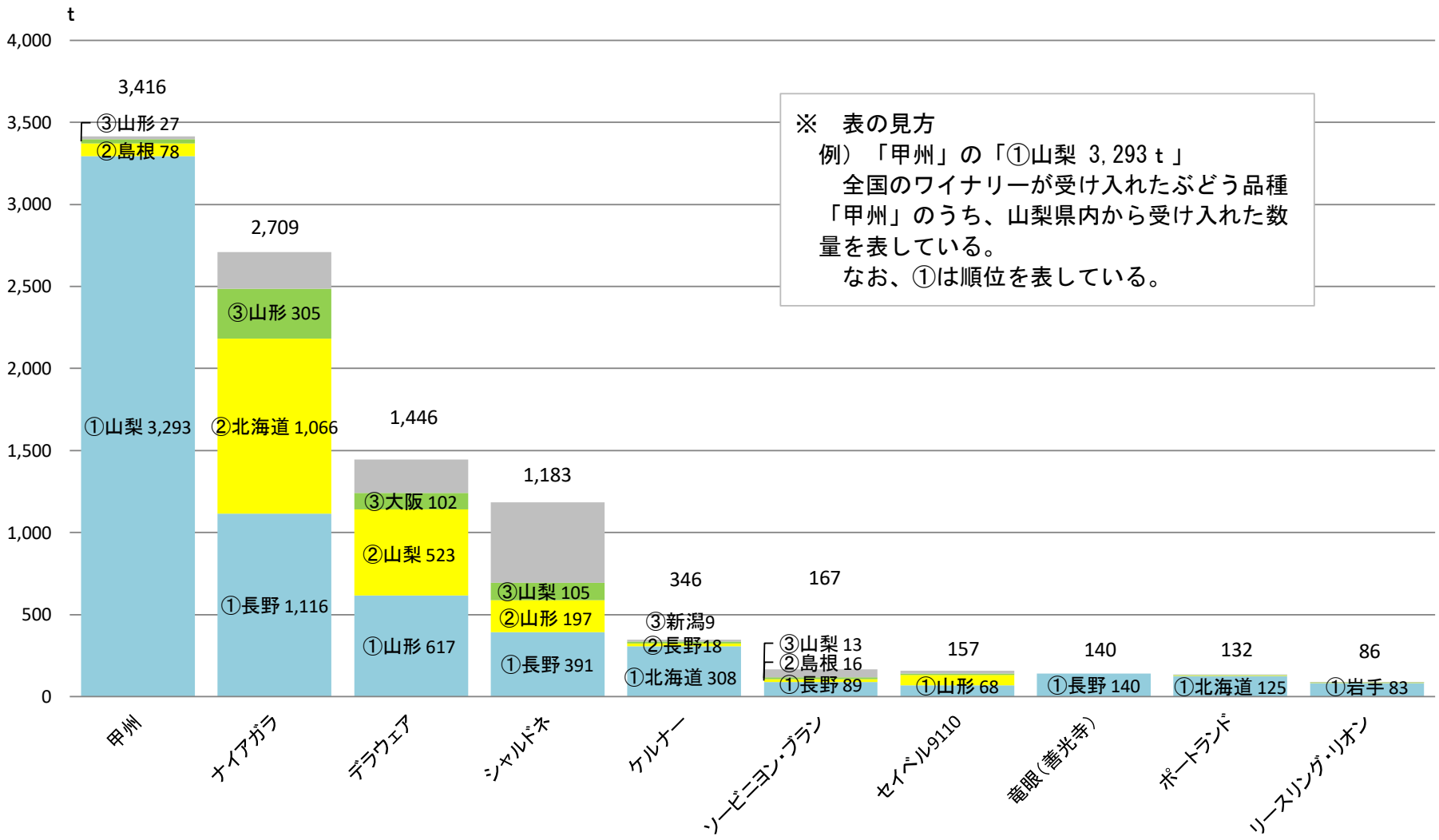
赤ワイン用品種上位10品種
9,234 t
43.3%

白ワイン用品種上位10品種
9,782 t
45.9%

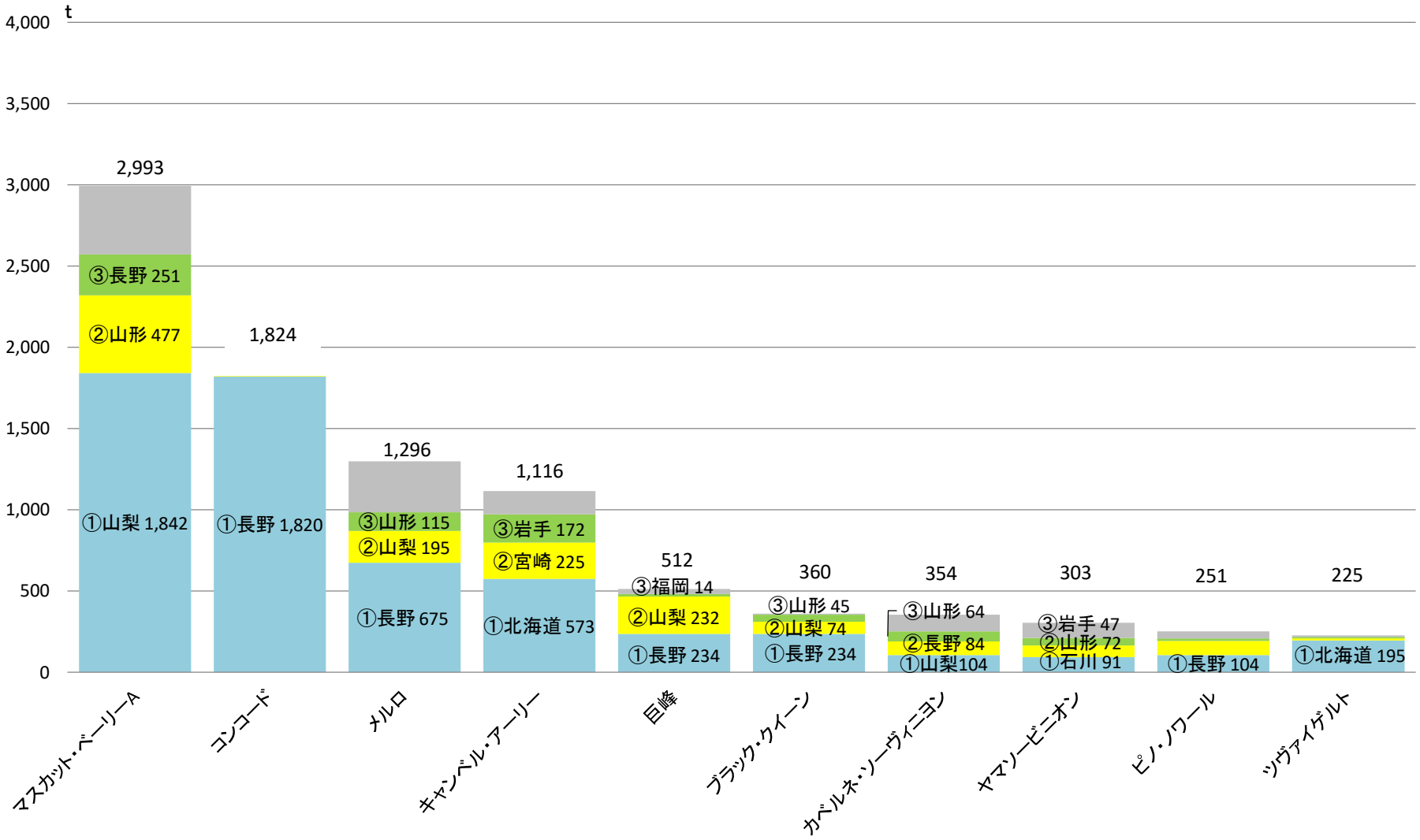


（注）ワインの原料とするために受け入れた国産生ぶどうの品種別数量の集計値であり、実際にワイン原料に使用した数量とは符合しない。
※　国産生ぶどうのワイン原料使用量　20,668t

○　原料用ぶどう品種（白上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）



○　原料用ぶどう品種（赤上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）

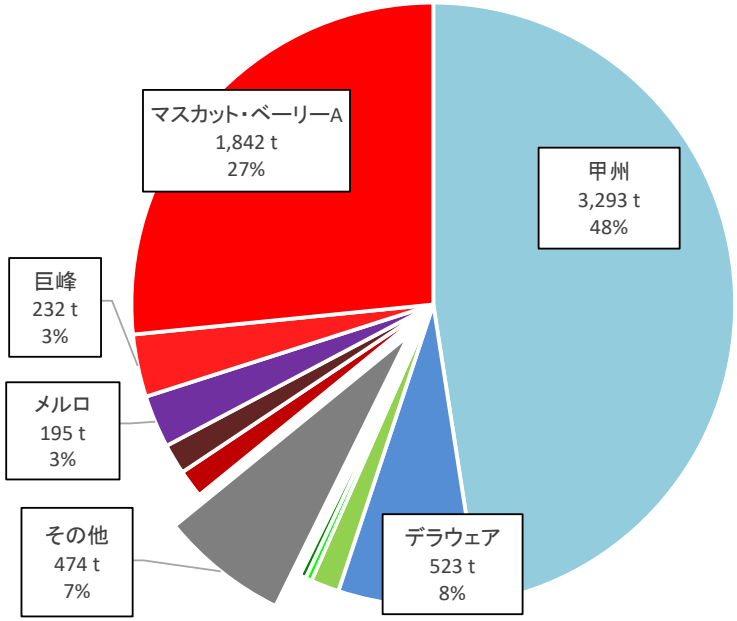


○ 主要ぶどう産地（上位6道県）における品種別数量 ①

山梨（合計 6,928t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベーリーA	1,842.0	26.6%
巨峰	232.0	3.3%
メルロ	195.1	2.8%
アジロンダック	112.3	1.6%
カベルネ・ソーヴィニヨン	104.0	1.5%
合計	**2,485.4**	**35.9%**

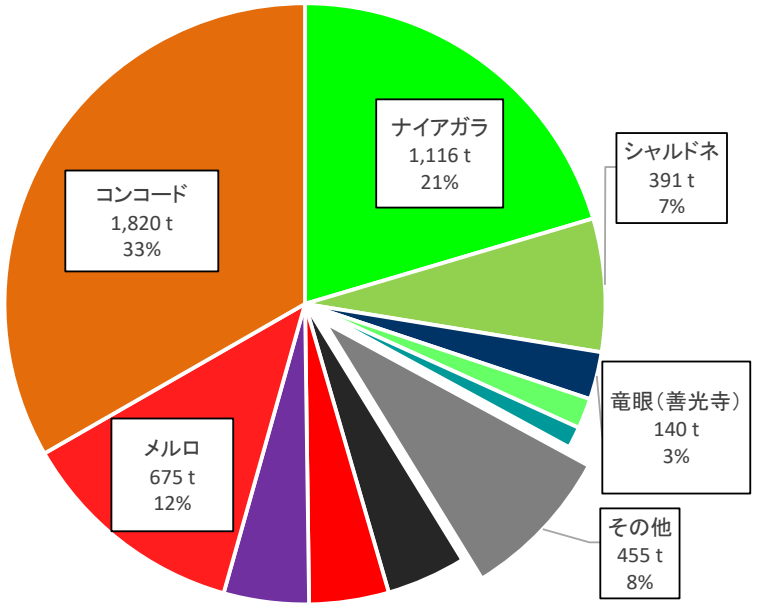
白ワイン用品種	数量(t)	割合
甲州	3,293.3	47.5%
デラウェア	523.4	7.6%
シャルドネ	105.3	1.5%
ナイアガラ	23.5	0.3%
セミヨン	23.0	0.3%
合計	**3,968.5**	**57.3%**



長野（合計 5,466t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
コンコード	1,819.6	33.3%
メルロ	674.6	12.3%
マスカット・ベーリーA	250.5	4.6%
巨峰	233.9	4.3%
ブラック・クイーン	233.7	4.3%
合計	**3,212.3**	**58.8%**

白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	1,115.8	20.4%
シャルドネ	391.4	7.2%
竜眼（善光寺）	139.7	2.6%
ソービニヨン・ブラン	89.3	1.6%
セイベル9110	62.7	1.1%
合計	**1,798.9**	**32.9%**



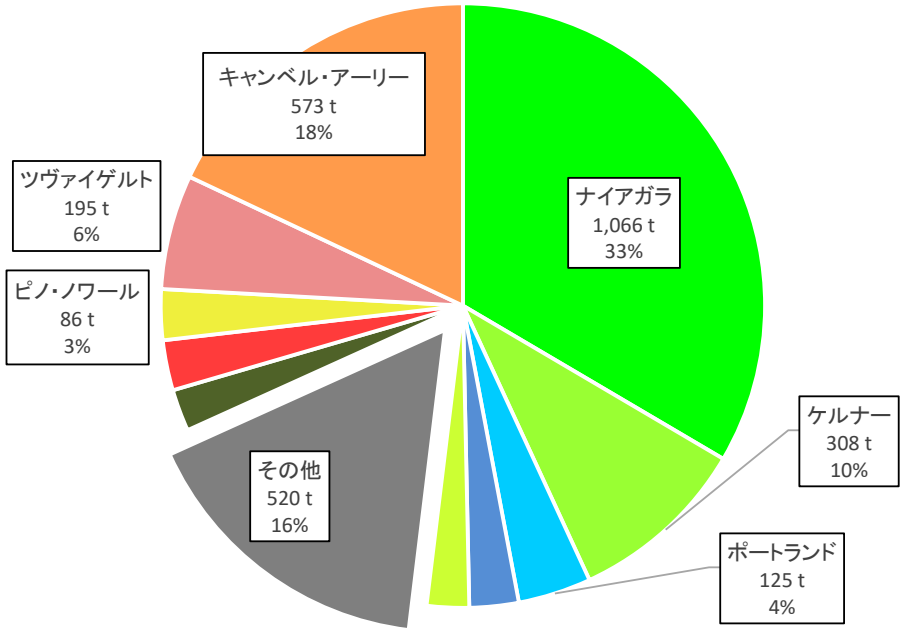
（注）全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位６県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地（上位6道県）における品種別数量 ②

北海道（合計 3,185t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	573.1	18.0%
ツヴァイゲルト	195.2	6.1%
ピノ・ノワール	86.3	2.7%
山幸	85.5	2.7%
セイベル13053（清見）	71.4	2.2%
合計	**1,011.6**	**31.8%**

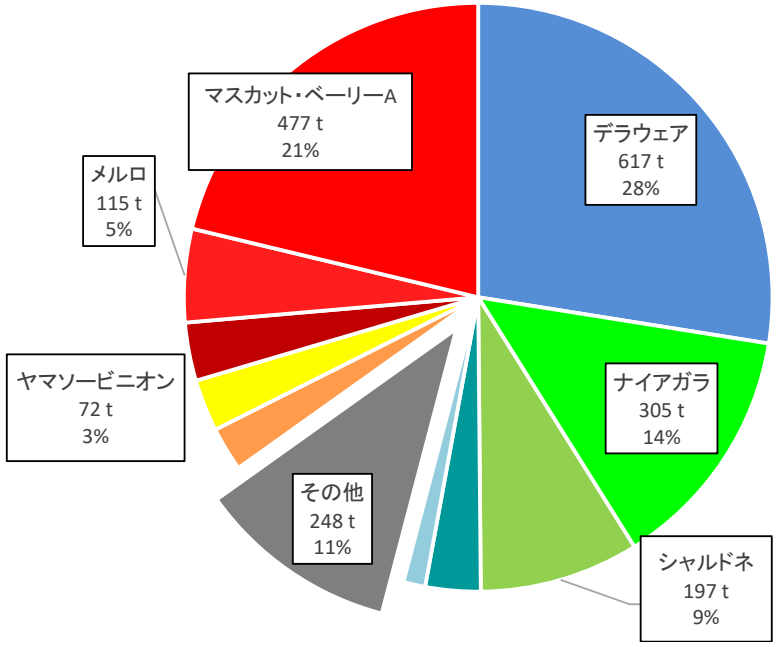
白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	1,065.9	33.5%
ケルナー	307.5	9.7%
ポートランド	124.6	3.9%
デラウェア	83.8	2.6%
ミュラートゥルガウ	72.0	2.3%
合計	**1,653.7**	**51.9%**



山形（合計 2,244t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベーリーA	476.8	21.3%
メルロ	114.9	5.1%
ヤマソービニオン	71.7	3.2%
カベルネ・ソーヴィニヨン	64.0	2.9%
キャンベル・アーリー	54.3	2.4%
合計	**781.8**	**34.8%**

白ワイン用品種	数量(t)	割合
デラウェア	617.3	27.5%
ナイアガラ	304.7	13.6%
シャルドネ	196.6	8.8%
セイベル9110	68.0	3.0%
甲州	26.9	1.2%
合計	**1,213.4**	**54.1%**



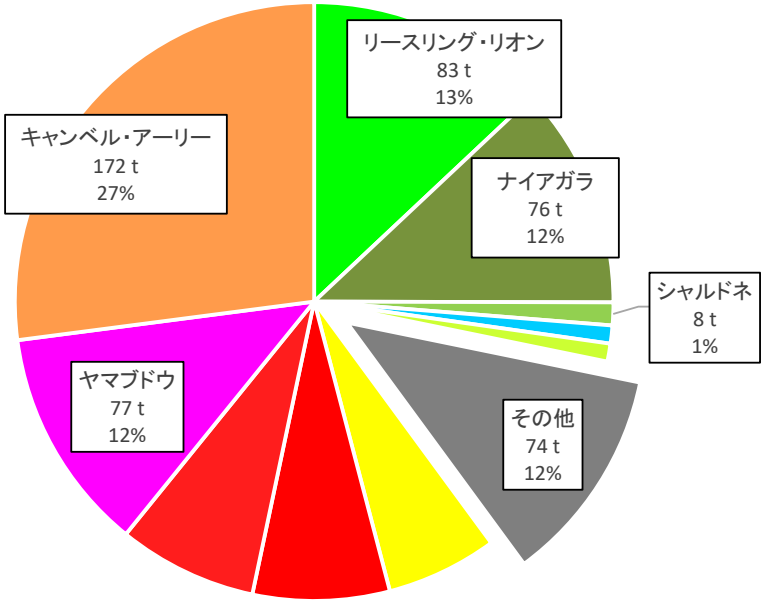
（注）全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位６県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地（上位6道県）における品種別数量 ③

岩手（合計 635t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	171.7	27.1%
ヤマブドウ	76.8	12.1%
マスカット・ベーリーA	47.7	7.5%
ヤマソービニオン	46.9	7.4%
メルロ	38.1	6.0%
合計	**381.3**	**60.1%**

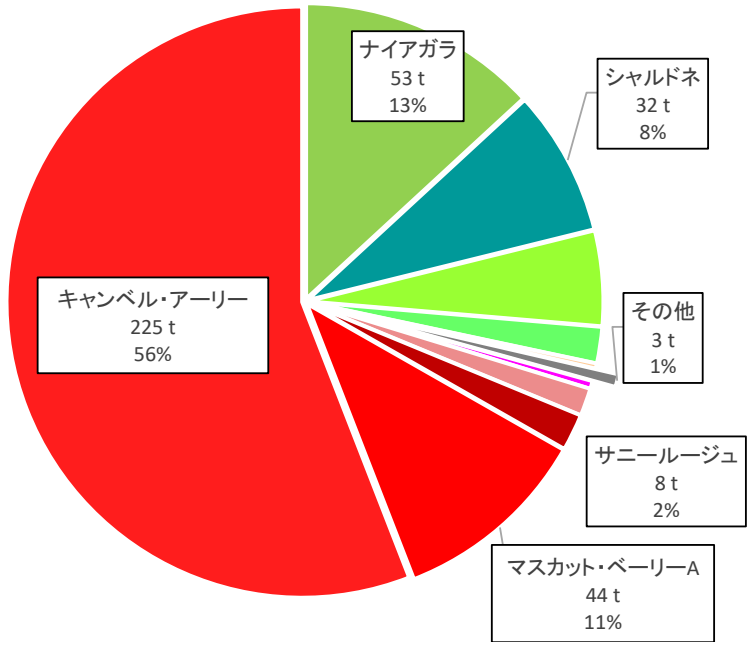
白ワイン用品種	数量(t)	割合
リースリング・リオン	82.5	13.0%
ナイアガラ	76.4	12.0%
シャルドネ	7.8	1.2%
ケルナー	6.2	1.0%
ミュラートゥルガウ	6.1	1.0%
合計	**179.0**	**28.2%**



宮崎（合計 403t）

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	225.4	55.9%
マスカット・ベーリーA	43.8	10.9%
サニールージュ	8.1	2.0%
メルロ	6.1	1.5%
ビジュ・ノワール	1.7	0.4%
合計	**285.1**	**70.7%**

白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	53.0	13.1%
シャルドネ	32.2	8.0%
デラウェア	21.0	5.2%
ブラック・オリンピア	8.0	2.0%
甲州	1.1	0.3%
合計	**115.3**	**28.6%**



（注）全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位６県から入荷したぶどうの品種内訳である。

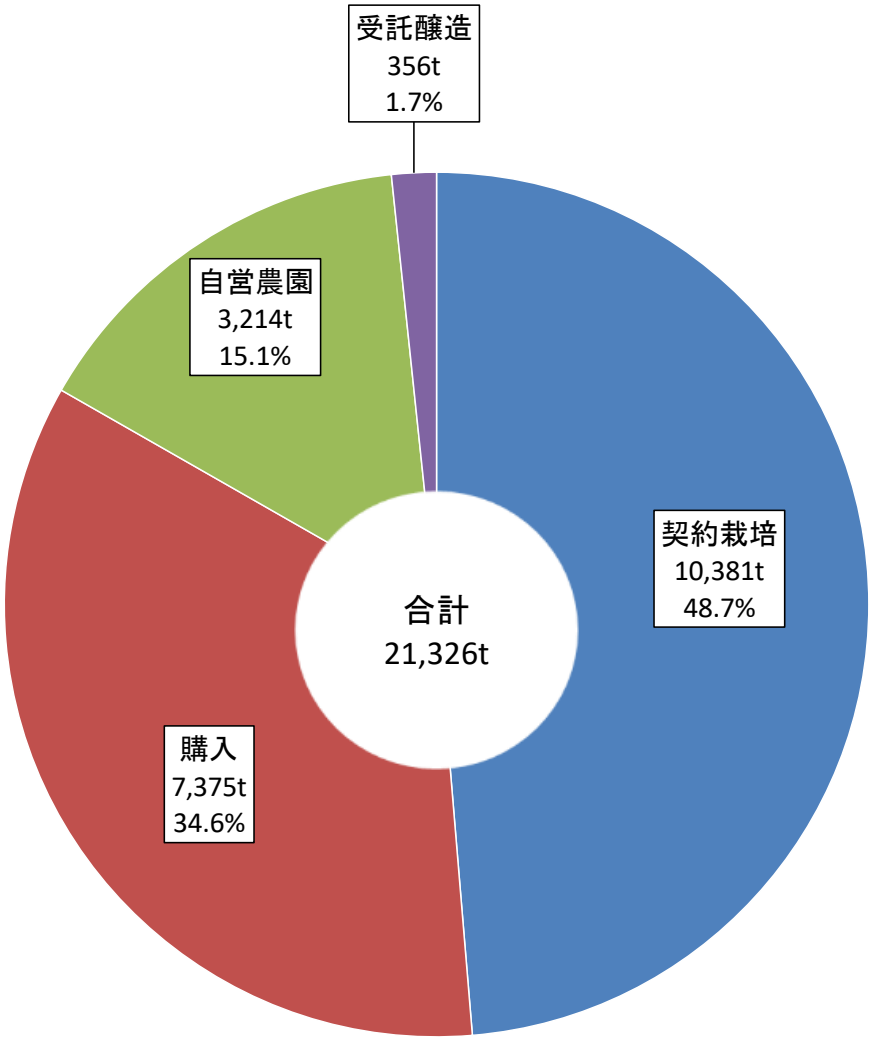
○ 都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況

（単位：t）

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量（受入元の産地別）	自県ワイナリーの受入数量（ワイナリー所在地別）	他県ワイナリーの受入数量	受入先の都道府県				
山梨	(100%) 6,928	(86.5%) 5,990	(13.5%) 938	岡山 163	新潟 107	京都 ×	長野 87	埼玉 83
長野	(100%) 5,466	(89.0%) 4,866	(11.0%) 599	山梨 492	新潟 25	大阪 15	栃木 15	京都 ×
北海道	(100%) 3,185	(90.4%) 2,880	(9.6%) 305	岡山 135	長野 97	栃木 42	新潟 12	石川 10
山形	(100%) 2,244	(67.0%) 1,504	(33.0%) 739	山梨 214	北海道 111	岩手 76	滋賀 ×	新潟 59
岩手	(100%) 635	(88.5%) 562	(11.5%) 73	北海道 18	滋賀 ×	大阪 13	栃木 9	宮崎 7
宮崎	(100%) 403	(79.8%) 322	(20.2%) 81	北海道 80	× 1	－	－	－
全国計	(100%) 21,326	(84.6%) 18,044	(15.4%) 3,282					

（注） この表は、各ワイナリーから提出された「ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量」を産地別に集計したものである。

○　ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比



○　生産規模別ぶどう受入形態別製造場数

（単位：場）

受入形態	生産規模				
	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上	計
自営農園	76				76
契約栽培	52	11	3	6	72
受託醸造	12				12
購入	78	15	4	1	98
合計	218	26	7	7	258

（注）１　複数の形態で原料を受け入れている場合、各業者の受入数量が最も多い受入形態に１場として計上している。
２　国産生ぶどうの受入れがない製造場が33場ある。

（参考1）

○ 果実酒の都道府県ランキング（上位10位）

順位	生産量			出荷量			販売（消費）数量	
		ワイン			ワイン			
			日本ワイン			日本ワイン		1人当たり
1	神奈川	神奈川	山梨	神奈川	神奈川	山梨	東京	東京
2	栃木	栃木	長野	栃木	栃木	長野	神奈川	山梨
3	山梨	山梨	北海道	山梨	山梨	北海道	大阪	京都
4	長野	長野	山形	岡山	岡山	山形	埼玉	長野
5	岡山	岡山	岩手	長野	長野	岩手	北海道	神奈川
6	北海道	北海道	岡山	大阪	北海道	新潟	千葉	和歌山
7	山形	山形	新潟	北海道	千葉	岡山	愛知	大阪
8	千葉	愛知	宮崎	千葉	静岡	宮崎	兵庫	北海道
9	青森	岩手	島根	静岡	山形	京都	福岡	沖縄
10	静岡	新潟	栃木	山形	愛知	栃木	京都	宮城

（注）1　果実酒のうち、ぶどう（濃縮果汁を含む。）を原料とした果実酒を「ワイン」として表記している。
2　国税庁統計年報（平成30年度）による果実酒の製成数量（生産量）、課税移出数量（出荷量）及び販売（消費）数量の都道府県別順位である。
ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）による。

（参考2）果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者（場）及び回答者（場）数

局名	都道府県別	製造免許場 果実酒製造免許場数	内 試験免許	内 ぶどう原料無	内 休造等	実態調査対象場数	回答場数	内 日本ワイン	製造免許者 果実酒製造免許者数	内 試験免許	内 ぶどう原料無	内 休造等	実態調査対象者数	回答者数
		場	場	場	場	場	場	場	者	者	者	者	者	者
札幌	北海道	52	9	3	3	37	33	33	46	7	2	1	36	32
仙台	青森	15	3	6	－	6	5	4	13	3	5	－	5	4
	岩手	15	1	1	2	11	10	10	15	1	1	2	11	10
	宮城	5	－	－	1	4	4	4	4	－	－	－	4	4
	秋田	8	2	－	2	4	3	3	8	2	－	2	4	3
	山形	18	1	－	2	15	15	15	18	1	－	2	15	15
	福島	9	1	1	1	6	6	5	9	1	1	1	6	6
	計	70	8	8	8	46	43	41	67	8	7	7	45	42
関東信越	茨城	11	4	－	1	6	4	3	7	2	－	－	5	3
	栃木	12	3	－	3	6	6	4	9	1	－	3	5	5
	群馬	7	1	1	1	4	4	3	7	1	1	1	4	4
	埼玉	7	1	－	3	3	3	3	7	1	－	3	3	3
	新潟	18	5	1	2	10	9	9	17	5	1	1	10	9
	長野	62	6	7	11	38	36	35	51	4	6	9	32	30
	計	117	20	9	21	67	62	57	98	14	8	17	59	54
東京	千葉	9	1	1	2	5	4	1	8	1	－	2	5	4
	東京	16	10	1	1	4	4	4	39	18	4	7	10	10
	神奈川	13	7	2	－	4	4	1	2	－	－	－	2	2
	山梨	96	3	－	8	85	63	59	79	2	－	5	72	51
	計	134	21	4	11	98	75	65	128	21	4	14	89	67
金沢	富山	5	1	－	2	2	2	2	5	1	－	2	2	2
	石川	7	3	1	1	2	1	1	7	3	1	1	2	1
	福井	2	1	－	－	1	1	1	2	1	－	－	1	1
	計	14	5	1	3	5	4	4	14	5	1	3	5	4
名古屋	岐阜	14	6	－	6	2	1	1	10	3	－	5	2	1
	静岡	12	3	3	1	5	4	3	9	1	3	1	4	3
	愛知	16	3	1	8	4	4	3	16	3	1	7	5	5
	三重	7	2	－	4	1	1	1	5	1	－	3	1	1
	計	49	14	4	19	12	10	8	40	8	4	16	12	10

局名	都道府県別	製造免許場 果実酒製造免許場数	内 試験免許	内 ぶどう原料無	内 休造等	実態調査対象場数	回答場数	内 日本ワイン	製造免許者 果実酒製造免許者数	内 試験免許	内 ぶどう原料無	内 休造等	実態調査対象者数	回答者数
		場	場	場	場	場	場	場	者	者	者	者	者	者
大阪	滋賀	4	2	－	－	2	2	2	3	1	－	－	2	2
	京都	8	4	－	2	2	2	2	7	3	1	1	2	2
	大阪	21	8	5	－	8	8	7	18	9	3	－	6	6
	兵庫	11	2	4	1	4	3	1	10	2	3	1	4	3
	奈良	4	2	2	－	－	－	－	3	1	2	－	－	－
	和歌山	9	2	6	－	1	1	1	9	2	6	－	1	1
	計	57	20	17	3	17	16	13	50	18	15	2	15	14
広島	鳥取	8	3	－	2	3	3	3	7	2	－	2	3	3
	島根	9	3	2	－	4	4	4	8	2	－	－	6	6
	岡山	15	5	1	1	8	8	8	14	5	1	1	7	7
	広島	17	6	2	1	8	8	6	16	5	1	－	10	10
	山口	4	2	－	－	2	2	2	4	2	－	－	2	2
	計	53	19	5	4	25	25	23	49	16	2	3	28	28
高松	徳島	3	1	1	－	1	1	1	3	1	1	－	1	1
	香川	2	1	－	－	1	1	1	2	1	－	－	1	1
	愛媛	3	2	－	－	1	1	1	3	2	－	－	1	1
	高知	3	1	－	1	1	1	1	3	1	－	1	1	1
	計	11	5	1	1	4	4	4	11	5	1	1	4	4
福岡	福岡	9	5	1	1	2	2	2	8	4	1	－	3	3
	佐賀	3	3	－	－	－	－	－	3	3	－	－	－	－
	長崎	3	2	－	－	1	1	1	3	2	－	－	1	1
	計	15	10	1	1	3	3	3	14	9	1	－	4	4
熊本	熊本	9	3	－	3	3	3	2	7	3	－	2	2	2
	大分	8	1	－	1	6	6	5	7	1	－	1	5	5
	宮崎	9	3	－	－	6	5	5	9	3	－	－	6	5
	鹿児島	3	－	1	1	1	1	－	3	－	1	1	1	1
	計	29	7	1	5	16	15	12	26	7	1	4	14	13
沖縄	沖縄	7	4	－	2	1	1	－	6	3	－	2	1	1
全国計		608	142	54	81	331	291	263	549	121	46	70	312	273

（注）1 製造免許場数及び製造免許者数（内書の試験免許を含む。）は、国税庁統計年報（平成30年度）による。

ただし、他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。

2 調査対象者は、果実酒製造業者のうち、①試験製造免許者、②ぶどうを原料とした果実酒を製造していない者、③果実酒の製成及び課税移出又は売上高がない者を除いた者である。

3 回答場数及び回答者数は、果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）に回答があった者の数である。

4 「内　日本ワイン」の項目は、回答のあったうち、日本ワインの製成数量がある場（者）の数を示している。

（参考3）ワインの都道府県別生産量・出荷量

局 名	都道府県別	対象場数（回答場数）	生産量	内 日本ワイン	出荷量	内 日本ワイン
		場	kl	kl	kl	kl
札 幌	北海道	37 (33)	2,715	2,603	3,194	2,537
仙 台	青 森	6 (5)	96	88	77	51
	岩 手	11 (10)	581	580	609	602
	宮 城	4 (4)	18	15	41	35
	秋 田	4 (3)	24	20	22	20
	山 形	15 (15)	1,197	1,159	1,268	1,105
	福 島	6 (6)	42	42	26	26
	計	46 (43)	1,957	1,904	2,043	1,839
関東信越	茨 城	6 (4)	23	23	31	27
	栃 木	6 (6)	22,368	237	31,944	227
	群 馬	4 (4)	24	15	110	14
	埼 玉	3 (3)	90	90	178	138
	新 潟	10 (9)	339	339	414	411
	長 野	38 (36)	4,699	3,950	4,299	3,447
	計	67 (62)	27,542	4,654	36,976	4,264
東 京	千 葉	5 (4)	0	0	2,641	0
	東 京	4 (4)	59	56	57	53
	神奈川	4 (4)	29,759	6	54,193	31
	山 梨	85 (63)	14,043	5,189	24,968	4,766
	計	98 (75)	43,862	5,251	81,859	4,850
金 沢	富 山	2 (2)	×	×	×	×
	石 川	2 (1)	×	×	×	×
	福 井	1 (1)	×	×	×	×
	計	5 (4)	126	126	153	153
名古屋	岐 阜	2 (1)	×	×	×	×
	静 岡	5 (4)	78	52	1,605	68
	愛 知	4 (4)	583	16	630	18
	三 重	1 (1)	×	×	×	×
	計	12 (10)	661	68	2,236	87
大 阪	滋 賀	2 (2)	×	×	×	×
	京 都	2 (2)	×	×	×	×
	大 阪	8 (8)	171	170	574	221
	兵 庫	4 (3)	122	113	158	145
	奈 良	− (−)	−	−	−	−
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×
	計	17 (16)	633	566	1,177	680
広 島	鳥 取	3 (3)	×	×	×	×
	島 根	4 (4)	242	241	202	202
	岡 山	8 (8)	3,739	394	6,012	282
	広 島	8 (8)	156	139	117	110
	山 口	2 (2)	×	×	×	×
	計	25 (25)	4,193	820	6,397	628
高 松	徳 島	1 (1)	×	×	×	×
	香 川	1 (1)	×	×	×	×
	愛 媛	1 (1)	×	×	×	×
	高 知	1 (1)	×	×	×	×
	計	4 (4)	24	24	24	24
福 岡	福 岡	2 (2)	×	×	×	×
	佐 賀	− (−)	−	−	−	−
	長 崎	1 (1)	×	×	×	×
	計	3 (3)	30	30	36	27
熊 本	熊 本	3 (3)	141	133	214	195
	大 分	6 (6)	129	127	136	130
	宮 崎	6 (5)	306	306	262	262
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×
	計	16 (15)	×	×	×	×
沖 縄	沖 縄	1 (1)	×	×	×	×
全国計		331 (291)	82,319	16,612	134,725	15,677

（注）1 果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）に回答のあった製造場のぶどう（濃縮果汁を含む。）を原料とした果実酒の製成数量（生産量）及び課税移出数量（出荷量）である。

2 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

（参考4）都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細

局名	都道府県別	対象場数（回答場数）	甲州	マスカット・ベーリーA	ナイアガラ	コンコード	デラウェア	メルロ	シャルドネ	キャンベル・アーリー	巨峰	ブラック・クイーン
		場	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
札幌	北海道	37 (33)	－	3	989	4	209	13	39	671	－	－
仙台	青森	6 (5)	－	－	9	－	－	3	0	1	－	－
	岩手	11 (10)	1	71	107	－	23	38	8	171	－	－
	宮城	4 (4)	18	18	7	2	15	11	4	3	－	－
	秋田	4 (3)	－	0	2	－	－	0	－	－	－	－
	山形	15 (15)	28	429	176	－	358	65	153	10	－	42
	福島	6 (6)	2	19	－	－	2	4	2	1	－	1
	計	46 (43)	48	537	301	2	399	122	167	186	－	43
関東信越	茨城	6 (4)	1	1	－	－	3	4	5	－	1	－
	栃木	6 (6)	4	30	7	－	7	21	12	3	2	10
	群馬	4 (4)	－	6	－	－	2	1	2	－	2	－
	埼玉	3 (3)	43	46	－	－	－	6	0	－	4	－
	新潟	10 (9)	19	152	0	－	34	65	56	7	－	4
	長野	38 (36)	50	274	1,139	1,778	10	447	287	6	234	226
	計	67 (62)	116	509	1,146	1,778	56	544	362	16	243	240
東京	千葉	5 (4)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東京	4 (4)	5	8	4	1	19	3	7	2	1	－
	神奈川	4 (4)	3	－	－	－	2	－	－	－	1	－
	山梨	85 (63)	3,046	1,434	112	37	429	406	255	16	214	62
	計	98 (75)	3,054	1,442	116	38	450	410	262	17	216	62
金沢	富山	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	石川	2 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	福井	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	5 (4)	7	42	15	－	2	16	15	－	－	－
名古屋	岐阜	2 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	静岡	5 (4)	16	4	2	－	2	4	13	－	－	1
	愛知	4 (4)	－	5	－	－	4	1	2	－	－	1
	三重	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	12 (10)	16	9	4	－	6	5	15	－	－	2

局名	都道府県別	対象場数（回答場数）	甲州	マスカットベーリーA	ナイアガラ	コンコード	デラウエア	メルロ	シャルドネ	キャンベルアーリー	巨峰	ブラック・クイーン
		場	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
大阪	滋賀	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	京都	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大阪	8 (8)	7	40	13	2	104	19	13	5	2	3
	兵庫	4 (3)	－	－	－	－	－	65	85	－	－	－
	奈良	－ (－)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	17 (16)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
広島	鳥取	3 (3)	3	13	－	－	－	1	1	－	－	－
	島根	4 (4)	78	65	－	－	－	11	22	6	－	－
	岡山	8 (8)	71	106	－	－	28	4	29	3	6	－
	広島	8 (8)	－	17	－	－	－	33	3	1	－	－
	山口	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	25 (25)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
高松	徳島	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	香川	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	愛媛	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	高知	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	4 (4)	2	4	0	－	9	－	－	－	1	－
福岡	福岡	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	佐賀	－ (－)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	長崎	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	3 (3)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
熊本	熊本	3 (3)	－	31	10	－	11	6	72	29	12	－
	大分	6 (6)	1	25	18	－	19	22	52	3	0	－
	宮崎	6 (5)	1	56	66	－	38	10	35	170	－	－
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	16 (15)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
沖縄	沖縄	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
全国計		331 (291)	3,416	2,993	2,709	1,824	1,446	1,296	1,183	1,116	512	360

（注）1　果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）に回答のあった製造場が受け入れた各ぶどう品種の数量である。

2　「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

（参考5）ぶどう産地別　製造場所在地別　原料ぶどう受入量　（国税局管轄区域別）

単位：t

ぶどう産地 / 製造場所在地	札幌	仙台		関東信越	東京	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	熊本	沖縄	ワイン原料ぶどう受入量
		内 岩手	内 山形	内 長野	内 山梨							内 宮崎		
札幌	2,880		130	−	41	57	−	−	−	23	−	80	−	3,211
		18	111	−	41							80		
仙台	−		2,495	9	99	−	−	−	−	−	−	−	−	2,603
内 岩手	−	562	76	1	13	−	−	−	−	−	−	−	−	90
内 山形	−	5	1,504	−	41	−	−	−	−	−	−	−	−	1,545
関東信越	151		142	5,249	310	22	3	1	−	−	1	−	−	5,879
内 長野	97	−	9	4,866	87	2	3	1	−	−	−	−	−	5,065
東京	×		343	504	6,026	−	×	5	×	×	×	−	−	6,893
内 山梨	4	×	214	492	5,990	−	×	3	×	×	×	−	−	6,711
金沢	10		−	5	×	132	×	−	−	−	−	−	−	160
		−	−	5	×							−		
名古屋	−		×	×	29	−	57	×	−	−	−	−	−	93
		−	×	×	29							−		
大阪	−		135	30	148	×	×	459	10	16	−	−	−	803
		28	107	30	148							−		
広島	135		41	10	188	−	−	6	477	4	1	−	−	862
		−	26	10	188							−		
高松	−		−	−	−	−	−	−	−	×	−	−	−	×
		−	−	−	−							−		
福岡	−		−	−	16	−	−	×	−	−	21	×	−	38
		−	−	−	16							×		
熊本	−		68	10	68	−	−	−	−	−	5	607	−	758
内 宮崎	−	7	23	−	34	−	−	−	−	−	4	322	−	383
沖縄	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		×	×	×	×							×		
ぶどう生産量	3,185		3,358	5,819	6,938	213	63	471	490	72	28	688	−	21,326
		635	2,244	5,466	6,928							403		

（注）1　各都道府県で生産されたぶどうの各都道府県での受入数量を国税局管轄区域別に集計したものである（果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）による。）。

2　内書の合計欄は、当該県で生産されたぶどうの量又は当該県でワイン原料として受入されたぶどうの量であり、縦・横の合計値とは一致しない。

3　「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

（参考6）ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地

	品種名	受入形態									合計	主要産地	
		自営農園			契約栽培			購入	受託醸造			都道府県	数量
		計	棚	垣根	計	棚	垣根		計	棚	垣根		
		t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
白ワイン用品種	甲州	175	167	8	1,515	1,500	15	1,658	68	67	0	3,416	山梨	3,293
	竜眼（善光寺）	14	14	－	90	90	－	36	－	－	－	140	長野	140
	ナイアガラ	109	108	1	1,747	1,746	1	845	8	7	1	2,709	長野	1,116
	デラウェア	84	84	－	344	343	1	987	30	30	0	1,446	山形	617
	シャルドネ	394	82	312	606	306	300	165	18	4	14	1,183	長野	391
	ケルナー	47	9	39	280	12	268	16	3	－	3	346	北海道	308
	ミュラートゥルガウ	16	0	15	61	2	59	2	0	－	0	79	北海道	72
	バッカス	12	0	11	34	－	34	－	1	－	1	47	北海道	46
	リースリング・リオン	7	0	7	78	24	54	－	1	1	－	86	岩手	83
	ソービニヨン・ブラン	85	14	71	46	19	27	26	11	4	7	167	長野	89
	ピノ・ブラン（ヴァイスブルグンダー）	19	1	18	15	15	1	1	1	0	1	36	山形	14
	ピノ・グリ（ピノ・グリージョ）	15	2	13	0	0	0	0	5	－	5	21	北海道	12
	ポートランド	2	1	1	89	88	2	41	－	－	－	132	北海道	125
	セイベル9110	7	3	4	136	123	13	13	1	0	0	157	山形	68
	セイベル5279	0	－	0	17	－	17	－	－	－	－	17	北海道	17
赤ワイン用品種	マスカット・ベーリーA	177	155	22	1,200	1,175	25	1,584	32	32	1	2,993	山梨	1,842
	巨峰	16	16	－	28	28	－	460	9	9	－	512	長野	234
	コンコード	232	232	0	1,461	1,458	3	131	－	－	－	1,824	長野	1,820
	キャンベル・アーリー	42	33	10	443	427	16	629	2	1	0	1,116	北海道	573
	メルロ	478	114	363	609	402	207	190	20	8	12	1,296	長野	675
	カベルネ・ソーヴィニヨン	148	10	138	164	72	93	40	2	1	2	354	山梨	104
	ツヴァイゲルト	49	3	46	165	3	162	2	9	1	9	225	北海道	195
	ヤマソービニオン	100	8	92	108	22	86	91	4	3	1	303	石川	91
	ヤマブドウ	17	8	8	108	18	90	21	30	11	19	175	岩手	77
	セイベル13053（清見）	30	－	30	48	－	48	5	3	－	3	86	北海道	71
	山幸	59	－	59	21	－	21	－	5	－	5	85	北海道	85
	ブラック・クイーン	99	98	1	218	218	0	40	2	－	2	360	長野	234
	カベルネ・フラン	49	16	34	21	19	2	1	1	1	－	71	長野	32
	ピノ・ノワール	158	14	144	41	8	33	22	29	3	26	251	長野	104
	プティ・ヴェルド	41	12	29	3	3	0	1	－	－	－	46	山梨	31
	シラー	64	14	50	10	5	4	－	1	1	1	75	長野	39
	アジロンダック	5	5	－	82	82	－	19	7	7	－	112	山梨	112
	甲斐ノワール	5	5	－	33	33	－	3	2	1	2	43	山梨	40

（注） 果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）で把握した全国のワイナリーが受け入れたぶどうの品種別数量である。

（参考7）ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況

（平成31年1月1日直前終了事業年度分）

項目 ＼ 製成数量規模	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
	者	者	者	者	者
企業数	273	231	24	11	7
欠損及び低収益企業数	107	105	1	1	－
割合	39.2%	45.5%	4.2%	9.1%	－
低収益企業数	31	31	－	－	－
割合	11.4%	13.4%	－	－	－
欠損企業数	76	74	1	1	－
割合	27.8%	32.0%	4.2%	9.1%	－
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	1,505,796	154,303	66,448	43,705	1,241,340
ワイン製造業	127,465	8,490	7,790	32,443	78,742
日本ワイン	22,235	6,620	6,289	3,752	5,574
売上原価	1,014,674	106,639	39,682	30,807	837,546
ワイン製造業	86,815	4,729	4,079	23,327	54,680
原料費	5,855	1,529	1,438	849	2,039
売上総利益	491,120	47,661	26,767	12,898	403,794
ワイン製造業	40,649	3,761	3,711	9,116	24,061
販売費・一般管理費	374,364	43,766	20,415	10,867	299,316
ワイン製造業	32,274	3,829	3,213	7,335	17,897
営業利益	116,787	3,926	6,352	2,031	104,478
ワイン製造業	8,395	△ 48	498	1,780	6,165
税引前利益	121,917	4,912	6,714	2,819	107,471
売上高売上原価率	67.4%	69.1%	59.7%	70.5%	67.5%
ワイン製造業	68.1%	55.7%	52.4%	71.9%	69.4%
原料費率	4.6%	18.0%	18.5%	2.6%	2.6%
売上高売上総利益率	32.6%	30.9%	40.3%	29.5%	32.5%
ワイン製造業	31.9%	44.3%	47.6%	28.1%	30.6%
売上高販売費・一般管理費率	24.9%	28.4%	30.7%	24.9%	24.1%
ワイン製造業	25.3%	45.1%	41.2%	22.6%	22.7%
売上高営業利益率	7.8%	2.5%	9.6%	4.6%	8.4%
ワイン製造業	6.6%	−0.6%	6.4%	5.5%	7.8%
売上高税引前利益率	8.1%	3.2%	10.1%	6.4%	8.7%

（平成30年度分）

項目 ＼ 製成数量規模	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
	者	者	者	者	者
企業数	273	231	24	11	7
	t	t	t	t	t
使用原料	81,802	5,414	5,989	7,123	63,276
国産原料	21,313	5,241	5,766	4,207	6,099
生ぶどう	20,668	5,225	5,137	4,207	6,099
その他	645	16	629	－	－
輸入原料	60,490	173	224	2,916	57,177
濃縮果汁	60,425	167	205	2,886	57,168
その他	64	6	19	30	9
	kl	kl	kl	kl	kl
製成数量	82,319	4,094	4,071	6,481	67,673
日本ワイン	16,612	3,885	3,900	3,355	5,472
輸入数量	41,966	2,436	678	9,009	29,843
未納税	21,921	1,598	678	4,449	15,196
課税	20,045	838	－	4,560	14,647
販売数量	158,654	27,743	5,263	17,297	108,351
課税	134,725	7,206	4,988	16,166	106,364
日本ワイン	15,677	3,643	3,895	3,538	4,601
未納税	23,849	20,527	239	1,115	1,969
輸出	80	9	36	16	18

（注）1　果実酒製造業者実態調査（平成30年度調査分）による。

2　低収益企業とは、税引前純利益が０から50万円未満の企業をいう。

3　「ワイン製造業」の欄は、ぶどう（濃縮果汁を含む。）を原料とした果実酒（以下「ワイン」という。）に係る売上高等の金額である。

4　濃縮果汁の重量は、糖度20度に換算した重量（推計）である。

5　製成数量、輸入数量及び販売数量は、ワインの数量である。

6　輸入数量のうち未納税については、酒類の原料及び自己の製造した酒類と混和してさらに移出するために輸入したワインの数量であり、課税の輸入数量については、そのまま販売容器に充填して移出するために輸入したワインの数量である。

7　販売数量のうち輸出については、法人については平成31年１月１日直前終了事業年度分、個人については平成30年分を基に集計した数量である。